

博士課程教育リーディングプログラム 平成24年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
申請大学名	京都大学	申請大学長名	松本 紘
申請類型	複合領域型（生命健康）	プログラム責任者名	湊 長 博
整理番号	I 0 1	プログラムコーディネーター名	福 山 秀 直
プログラム名	充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本事業の目的は、世界的に急速に拡大する高齢化社会において、医療と福祉の統合により地域の中で個々人の生活を支える総合医療システムの創生を図り、充実した健康長寿社会を構築して世界に普及させるという目的のため、高齢化社会の問題を俯瞰し、医学・医療支援の知識と高度な工学知識・技術に基づいて総合医療開発を推進することのできる人材育成を行うことである。本プログラムでは、医学・工学・薬学・理学・経済学等の専門家が協力し、研究科の枠を超え真に融合した医工学教育を実現する。大学本部が総力をあげて運営に関与し、多部署の教員・研究員が協同して効率的に教育・研究指導・人材育成に参画する体制を整備する。本プログラムを通じ、大学の持つさまざまな人材育成能力を発揮し、全大学の力を結集して、困難な問題解決にあたることを示す。

2. プログラムの進捗状況

- ・人材育成の体制整備を達成するために、運営陣の組織作り、本プログラム拠点とする講義室や講義用設備備品等の設置、本プログラム専用ホームページの開設、特定教員・技術職員等の雇用を実施した。
- ・医工薬学系の基盤科目、講義と実習を組み合わせた新規な学際応用科目、企業との連携による特論とインターンシップなど、カリキュラムを編成した。
- ・平成25年度大学院修士課程入学者から履修生選抜への応募を促すため、ホームページ・冊子（プログラムパンフレット）・全学メールマガジンなどによる広報、新入生説明会の準備を行った。
- ・履修生が海外の先端的研究開発や実務環境を体験するため、米国や欧州の協力機関とインターンシップの調整に着手した。
- ・産官学連携：平成25年2月12日に京都大学総長を始め、協力企業や地方自治体・公的機関の要人参加の下、本プログラムを学内外にアピールするシンポジウムを開催し、プログラム趣旨について学生はじめ学内外組織に周知した。